

境メガソーラーに地元は反対

県のアセスの結果を見て判断



名取武一議員

質問：・境メガソーラーは「地元4区全てで反対」と報道されている。計画は断念とみてよいか。

町長：・県環境部に科学的根拠でしっかりした結論を出すよう依頼したところ。県の判断を待つて結論を出したい。

質問：・地元9割が反対と言っても判断できないのか。

町長：・アセスをやる前に投票をすることに疑問を持っている。

質問：・町長は今まで地元の合意が無ければだめだと言っていたはず。地元の判断を尊重するのが町長の仕事では。

町長：・アセスの結果に基づいてと何回も言っていたのに住民投票を先にしたのは理解できない。

■介護保険・新総合事業

質問：・「医療・介護保険法」で要支援者への訪問介護と通所介護が保険給付から外され、市町村事業の「新総合事業」に段階的に移行、今年度中に移行を完成させることになっているが。

町長：・当面は現行制度とA型（現行に比し、時間を区切る等のサービ

ス）を混在した形で進めたい。ケアマネージャーと要支援者との相談で、十分に話し合い進めていきたい。

質問：・介護保険の利用料を合計所得160万円以上の方は2割負担とされたが、町内で該当する方は、55

住民福祉課長：・8月1日現在、55人の負担が増えている。

■パノラマスキー場への町税の投入について

質問：・パノラマスキー場に町税をいくら投入したことになるか。

町長：・町営スキー場で再建するとき、50億円の借金があり、町が返した。

質問：・50億円を町が投入したままで、回収の見込みがないことを町民に説明すべきでは。

町長：・子どもに貸したものを子どもが返さなかったら、親である町が返すのが当たり前。町民に説明する必要はない。

■生活者困窮者支援について

質問：・富士見町でも貧困・格差が広がっているという認識は。

町長：・町内で困窮層が増えているとは全く考えられない。

避難所開設の訓練を

行政区での取り組みは大事



織田昭雄議員

質問：・地域おこし協力隊員の現状と活動は。

町長：・隊員は富士見

森のオフィスに3人、観光協会に1人、社協に1人と、現在選考中1人の合計6人。森のオフィスは管理運営から日常の清掃、イベント企画、

町民とのコミュニケーション作りと忙しい毎日を送っている。観光協会の隊

員は町の観光を発展させること、よりセンスのある観光企画や案内所の

運営と更なる強化を行っている。社協の隊員は社会福祉推進と、外から

の目で現状をさらに改善すべく活動をしている。活動の使命は地域創成

で、富士見に定住することが目的だ。

総務課長：・地域おこし協力隊員の身分は町が委嘱し、特別職の職員として働いている。

質問：・隊員は富士見町に住んでいるのか。人事管理は何課が担当し、

定期的な連絡会を行い、目的の進行状況をチェックしているか。

町長：・森のオフィスの1名は原村

在住だったが町に移住、他の隊員も住民票を富士見町に置いている。社協の1名も住民票を移すように働き掛ける。人事管理はそれぞれの部署でやっている。定期的な連絡会は隊員とのコミュニケーションを取ることが重要なので、検討する。

■町の危機管理体制は

質問：・防災訓練に関して、行政区ごとの避難所運営訓練では、境小学校PTAの皆さんが行ったような模擬体験が必要と思つが。

町長：・境小PTAの避難所運営体験の訓練は、よく気が付かれたと敬意を表したい。他の地域でも横展開する必要がある。日ごろから訓練し、有事に備えることが有効だ。

総務課長：・一次避難所は地域で準備をしてもらうことになるので、行政区で取り組むことは大事だ。地区防災会に町の防災係が出向いているので、どんな事が必要なのかを伺いながら取り組むべきものは進める。

質問：・来庁者や職員の安全の為に専門の嘱託職員を採用しては。

町長：・現在の役場の危機管理の担当職員で充分と考える。

花アプリ追加提案は工程表より早い

内示により開発を発注した



名取久仁春議員

質問：…質問の本题に入る前に、9月から12月までの町政の動きで

一言、言っておきたいことがある。町長も我々議員も、権限の違いこそあれ、住民の付託を受けている立場であり、お互いがお互いを尊重し合うことが重要ではないか。それでは、花アプリについて質問する。開発業務委託の見積書の妥当性は誰が検証したのか。

町長：…私が妥当と判断し、森のオフィスの監査役に確認を取った。

質問：…使用権の設定は。

町長：…口約束であったので、開発完了後に、契約書に盛り込んでもらう。

質問：…無断転売か期限付き禁止条項を付けるべきではないか。

町長：…今回のソフトは富士見町の固有のものであり、転売したくてもできないので、条項は付けていない。

質問：…契約書の工程表では8月に基本設計となっているが、なぜ6月

の段階で不足分が分かったのか。

町長：…3月議会に議決されたので、4月以降、内示で開発をしてよいとして進めてもらった。契約書は非常に重要なので慎重に検討していた。こういったことは、よくあることだ。

質問：…農業1Tと福祉1Tは、調査が始まっていないのに、どうして地方創生推進交付金を申請した6月に案が出せたか。

町長：…花アプリと同様に、内示により、検討を進めてもらっていた。

質問：…来年度の予算で改めて提案する予定があるのか。その場合は、競争入札が考えられないか。

町長：…来年度も提案する予定である。私は森のオフィス入居者を優先し、仕事をしてもらうことが重要なので、競争入札は考えていない。

【その他の質問】

○ふるさと納税の現状とその用途について

地方創生で地域との融合を

都会からの移住企業を支援



小林市子議員

質問：…27年度の3月定例会で、開発費や調査費用として支援が確

定し、地方創生加速化交付金3200万円の事業は4月から開始されたが、地域創生は「まち、ひと、しごと」に関わる事業だからこそ、富士見町を担って貢献したいと頑張っている民間の人材と、森のオフィスの企業とが融合し、協力することが、地方創生推進事業ではないか。

町長：…国は地方創生で、地方に人の流れを作るテレワーク事業を後押ししている。森のオフィスに入居した企業とコワーキアで約70人が契約してコミュニティを形成している。企業プラス何十人という条件があり、個人事業主では開発が困難だ。

質問：…森のオフィスに優秀な企業や人材がそろっていても、移住したばかりの企業だけでは、町を理解し支える人材育成は無理だ。地域との融合が必要ではないか。

町長：…地元では生業を作っている

が、民間の個人を集めてもチームはできない。森のオフィスにきた企業全体の能力が、この事業を力バードできること、都会から移住してきたという理由が随意契約の条件となりうる。

質問：…随意契約の要件は、地方自治法第234条の2項、地方自治法施行令第167条の2第1項に該当するものとされていて、競争入札と同様、最廉価の者と契約すべきであるが、町で進めてきた地方創生加速化交付金が著しく森のオフィスの企業に有利に随意契約を締結したことは、条件に適していないのではないか。

町長：…一番お金をかけている花アプリ(2500万円)は、3社の連合体のプロジェクトでやっているもので、とても個人事業主ができるものではない。

【その他の質問】

○町立保育園における非正規職員員の任用について

○丸山墓地公園の埋葬形態に、合葬タイプのお墓を提案

庁内組織体制の改編を

現行の体制が望ましい



矢島 尚議員

質問：…他市町村では、人口減少、少子高齢化、社会保障費増加、地方

創生関連などに対し、さまざまな取り組みを実施している中で、時代に即した組織体制と、行政の効率化を進めている。適正化を図ることで、地域住民への対応や、柱として進める事業などが効率的に展開できる。現在の富士見町の組織体制を見て少し疑問を感じる。今後、庁内の組織体制を見直す必要があると思われる課が三つ（総務課・産業課・住民福祉課）、局が一つ（議会事務局）あるが、改編する考えはあるか。

町長：…現体制は11年前からだが、即変更を要する差し迫った理由はない。多忙で事業が多岐にわたる部署には専任課長を配置している。各課に精鋭部隊がいて、課長、実力のある係長がまとめている現行の体制が望ましいと考える。

■凍結による道路危険箇所安全確保を

質問：…冬季の道路危険箇所と思われる沿道の支障木を伐採することや、滑り止め舗装をすることで凍結回避、安全走行ができると思うが、その考えは。また危険箇所手前への告知表示など事故防止の配慮は行っているか。

町長：…危険箇所は谷間であり、伐採して効果があるか疑問。滑り止め舗装も莫大な費用が掛かる。除雪をしつかりすることで理解いただきたい。注意喚起の看板は必要に応じて増やしたい。

質問：…下り坂急カーブは、その手前から速度を抑えるような舗装改善が必要ではないか。

建設課長：…来年度予算の中で対策を検討したい。

■公用車の更新について

質問：…町長車のエコカー導入計画はあるか。また、トラブル続きのマイクロバスも入れ替え時期ではないか。

町長：…町長車は来年度更新することを計画。バスは耐用年数が長いので、今しばらく我慢を願いたい。

ゆめの森公園の町民理解は十分か

夢のある公園づくり而努力



五味高幸議員

質問：…「ゆめの森」公園（仮称）の早期実現を望むが、住民の理解、賛同は得られているか。

町長：…昨年の五味議員の質問に答え、町民、子育て世代等にアンケートを取り、強い要望を確認し、教育長にはリーダーとしての取り組みをお願いした。

教育長：…数年にわたる子育て支援会議を経て、関係者会議における多数の意見・要望の集約を基に、全協、住民懇談会でも説明し努力を重ねた。賛同を得られたと確信している。

質問：…維持管理費の内容と、削減努力は。

子ども課長：…基本設計段階では450万円。このうち管理人件費は360万円、水道光熱費は48万円。実施設計では、あらゆる面でコスト削減に努めたい。

■ITプロジェクト3事業の再々提出を考えているか

質問：…ITプロジェクト3事業を

新年度当初予算に盛り込むか。

町長：…地方創生を進めるために重要な施策であり、ぜひ提出したい。

質問：…2度にわたり否決されたのは、必要性、議会軽視、見積りの妥当性、進め方などに、批判が少なからずあったためだが、反省、釈明の弁はあるか。

町長：…否決理由に納得できない。地方創生のために取り組んできた事業であり、釈明、反省はない。逆に反問権を行使し、質問の根拠を聞きたい。

反問への返答：…議会での可決前に、事業が着手された。前回の7対3の討論と採決結果が全てだ。町長は町民より森のオフィスに目が向いているのでは。

質問：…単年度で結果は出ない。来年の町長選に委ねる考えは。

町長：…地方創生を2年間止めることはできない。町長選とは関係なく、責務として3月議会に提出する。首長が変わっても事業の踏襲を望む。

【その他の質問】

○空き家対策に付いて。空き家の利活用の推進、処分に補助金の検討はできないか。

落合保育園の移転計画は

旧落合小を改修し30年度竣工



川合弘人議員

質問：…実質的な義務化である保育所の第三者評価を審査する準備は整っているか。

教育長：…29年度に具体的な評価項目を点検し、30年度には評価を受ける計画だ。

質問：…長野県が独自に定めた給食の評価基準「県産の農畜産物」は基準を満たしているのか。

教育長：…町内農業者「よつちやばり」の野菜を使った給食を提供。食材の放射能検査も学校給食と同様にを行い、安全な給食に心掛けている。

質問：…町内5保育園を維持する考えはあるか。

教育長：…町内の子どもが地域に響く環境を維持していきたい。5園体制の維持を前提に27年度は境保育園の全面改修を行い、落合保育園の移転改築を計画中だ。

質問：…増加傾向の3歳未満児保育にどう対応するのか。

子ども課長：…新年度は87人の申し込みがあった。昨年度は58人、今年度は66人で、「爆発的な傾向」だ。2

歳児の受け入れは境、落合でも態勢を整える。ゼロ歳児、1歳児は定員の関係もあり、すずらん保育園にお願いする。

質問：…落合保育園を旧落合小に移転する計画はあるか。

子ども課長：…次年度6月ごろをめぐりに細部を決定する。29年度に実施設計を行い、30年度に竣工の予定だ。落合保育園は落合地区の重要な施設と考える。

■町長の開発公社理事長との兼務は解消すべきでは

質問：…公社理事長の兼務は「3カ月間の暫定的なもの」と発言し6年が経過した。支援する町のトップが支援される公社トップを兼務するのは避けるべきだ。

町長：…2期目の任期中は兼務を続ける。後任は考えている。

質問：…兼務は、「開発公社の定款にある。矢嶋前町長は定款と違った行動を取られた」と答弁したが、誤りではないか。

副町長：…事実関係を確認し、誤りがあれば修正する。

【その他の質問】

○高齢ドライバーの免許返納と、代替交通「すずらん号」の充実

小1からの英語教育の成果は

想定以上に素晴らしい



小池 勇議員

質問：…町では小1から英会話に取り組んでいる。その成果は。

教育長：…平成30年から小学校で英語の教科化が始まり、32年には完全移行する。町ではこれに先立ち、23年から5、6年生の外国語活動として導入を始めた。24年からは「教育のまち富士見」事業の一つの柱として、より充実した取り組みを進めている。

質問：…具体的な内容は。

教育長：…小1から小4までは年間17時間、5、6年では35時間。外国人講師のNLTと担任が協力して、レシピ方式のプログラムと教材を使って授業を進めている。レシピ方式は「繰り返し」を重視した「スパイラル型」の学習で、「リズムとテンポ」を大切に、「ゲーム感覚」で展開していく。細分化された教材をスティーディーに展開するため、強い集中力が求められる。従来の受け身型の授業とは一線を画する。子供たちは、

物怖じせず、楽しんで取り組んでいるため、進歩は驚くほど速い。

質問：…NLT活用の問題点は。

教育長：…レシピ方式のプログラムが優れていることとNLTの資質が高く、訓練も行き届いているため、問題はない。担任との役割分担や協力関係も万全で、十分な成果が上がっている。

質問：…早期英語教育の狙いは。

教育長：…教育とは子どもの可能性を引き出すことだ。外国人とのコミュニケーション力を高めるだけでなく、英語を通して日本語を再認識すること、人間関係力を養い、他者理解を深めることも目指す。

質問：…国語力の低下が懸念されるが。

教育長：…国語力向上は必須。英語が国語かの択一ではなく、英語も国語も、という姿勢で臨む。教師は自身の言葉をさらに磨かなければならない。

高齢ドライバーの事故対策は

免許返納の環境づくり



五味平一議員

質問：…高齢ドライバーの把握方法、平成24年度から28年度10月までの物損・人身事故件数、運転免許証の返納状況は。

町長：…建設課が把握している。70歳以上の高齢ドライバーは1945人で、事故件数は合計483件。運転免許証の返納状況は次の通りだ。

年度	件数
24	16
25	17
26	24
27	30

質問：…高齢ドライバーの講習会の開催状況は。担当課は。

町長：…2年間に27地区で行った。担当課は建設課だ。

質問：…免許証返納後の対策は。

町長：…「ずらん号」の利用、家族によるサポート、タクシーなどだ。今後更に、ずらん号の増便を考えている。

質問：…家族も含めた、高齢ドライ

バーの悩み相談窓口の開設は。年に数回開く認知症・運転適性検査と、来年3月施行の改正道路交通法の周知方法は。

建設課長：…当面、窓口は建設課で担当し、関係課と連携を行っている。適性検査については運転講習会を充実させる。改正道路交通法の周知方法は、まず、来年2月の広報、告知放送を活用して啓発に努める。

質問：…再度、相談窓口の開設についての考えを。ずらん号、タクシーなど代替え交通の無料券、割引券発行の考えは。

建設課長：…交通事故をなくす対策会議で今後、在り方を含めて検討する。ずらん号などの利用については、対策会議で産業課も含め、免許証返納の対策を考えていく。

【その他の質問】

○富士見町の地方創生の取り組み

○旧落合小学校の利用について

空き家、空き地の対策は

最大限の協力を惜しまない



三井新成議員

質問：…空き家の周辺環境整備について、雑草、雑木が繁茂し、建物が荒廃するなど見苦しく、危険な状態となっているが、行政はどう対応しているか。各区からの要望はあるか。

町長：…基本的には集落から情報提供をしてもらい、町に相談があれば対応している。解体撤去するには多額の費用が掛かるため、金融機関へつないでローンを組んであげた事例もある。近年、各地区から要望が出る始めている。これに対して町は、建設課で相談に乗っている。これらの物件の個人的な責任は所有者にあるが、空き家調査で判定したDランク45戸については、今までは廃屋などの解体撤去についての予算措置は考えてこなかった。今後、個々の状況を判断した上で多少の財政支援を考えている。

質問：…通学路や、子どもの遊び場となりうる空き家、空き地などの危

険箇所の把握と対策の現状は。

教育長：…危険箇所の把握は主としてPTAと建設課が調査し、各区にも協力いただいている。通学路全般にわたって学校とPTAが定期的にパトロールを行っている。大雨が降った後は必ずパトロールを実施している。また、登下校時には街頭指導として子どもに注意喚起をしている。地区懇談会の中でも、危険箇所についての話し合いをしている。その中で、空き家に関わるような報告は受けていない。日ごろから子どもたちには、危険箇所の正しい判断力を養うための指導を行っている。

質問：…危険箇所に柵やロープによる防御措置を行う考えは。

町長：…他市町村の状況を調べた上で再度検討する。

建設課長：…まずは集落、区、常会の中で対応をお願いしたい。何でも町での対応はできない。

【その他の質問】

○「ゆめの森」公園（仮称）の設計について

○移住、定住対策について